

# 新高退通信 No.135

HP : shin-koutai.jimdo.com

mail : shin.koutai@gmail.com

## 新潟高教組

発行所 / 新潟県高等学校教職員組合 / 新潟市中央区川岸町2-11 / TEL (265) 4151 / FAX (231) 1036 / 1部10円 (購読料は組合費に包含)

発行人 吉田 裕史

2019年12月1日 号外

新潟県高等学校退職者の会

事務局 〒951-8133 新潟市中央区川岸町2-11-4 (高校会館内)

退職者の会専用電話 025-265-1110

### 2019本部・魚沼支部共同企画

### 「湯沢de懇親会」

…歴史散歩に紅葉狩り…

昨年、新企画で好評だった『湯沢de懇親会』を同じ会場（KKR湯沢ゆきぐに）で、昨年より2週間早めた10月23・24日に開催した。今年は魚沼支部と共同企画とし、2日目の自由活動のコースを魚沼支部に作成してもらった。参加者は昨年の25人を下回ったが、新潟支部と地元魚沼支部を中心に18人の参加を得た。懇親会は、ハモニカの名手である井口國一さんと市川昭雄さんの2人が参加者の年齢に合った選曲を行い、みんな箸も盃も止めての合唱となり、時間の経過も忘れるほどの盛り上がりとなった。



魚沼支部歓迎のあいさつ (前副会長の井口國一さん)

2日目は、天候や紅葉の様子から、「湯沢高原アルプの里大峰山コース」と「魚沼歴史・美術館散策コース」の二手に分かれての活動となった。



懇親会でハモニカ演奏の余興 (副会長の市川昭雄さん)

### ■アルプの里トレッキング

バイキング形式の朝食を食べ、フロントでロープウェイ乗車券を購入する。「アルプの里トレッキング」のA班10人はホテルを9時に出発する。ロープウェイ山麓駅で、予定のパノラマコースと一楠場ルートが通行止めとのこと、トレッキングはレストラン「エーデルワイス」から「大峰展望台」までの2・6kmを往復する約100分のコースとなる。

山麓駅からロープウェイ7分の搭乗で山頂駅に到着、途中眼下には一面の紅葉が広がっていた。



「秩父第四番」

「エーデルワイス」までシャトルバスを利用し、そこからトレッキングをスタートする。最初の上りはきつい。山の上は風があつて寒かったのでリュックからジャケットを出して着用、みんなでおしゃべりしながら上に向かう。途中、山葡萄を見つけた者は大喜びで採集したが、こういった行動で楽しみみのキノコや山菜など他の山の恵みは見当たらず。70分ほどで目的地に到着する。展望台からは色づいた斜面、湯沢の街並み、対面の飯土山をはじめとする魚沼の山々を見晴らす。近くで、ブルーシートで冬囲いされた小さな石碑らしきものを見つけ、その苔の隙間から「秩父第四番」との刻字を発見する。こんな小さな発見もこうした散策の小さな楽しみだ。後に調べてみると、「大峰百番観音」と判明した。

このあと、ブルーシートを敷いて軽い飲食を準備してくれたメンバーの善意に甘んじて、柿を食し、つまみを肴にビールをご馳走になる。

12時に山を下りて、シャトルバス乗り場近くから無料のリフトで「湿性花園・ロックガーデン」へ。今は夏の時期と異なり、花は少なく唯一咲き誇っていたのが大文字草、赤白ピンクの花々が可憐に美を競っていた。

そこからは、再びリフト、シャトルバス、ロープウェイと乗り継いで山麓駅に戻る。昼食は山麓駅



トレッキング参加者と魚沼の山々 (撮影・内山)

向いの「越後とんかつ人参亭」で越後もち豚のカツ丼を食べることになっていた。しかし、店の前まで行ってみると定休日なのか入口がピタリと閉じていた。

他の店を探すが、時間がかかるようなので、そこで他のメンバーに別れを告げ、駅弁を買って電車に乗り、帰途についた。

(新津支部 内山正知)

「大峰百番観音」とは、湯沢町の湯元高半ホテル裏手から、湯沢高原一帯そしてナスパスキー場、秋葉山にかけて勧請されている、石に刻まれた百体の観音像のこと。西国33番観音、坂東33番観音、秩父34番観音が本寺の観音と同じ姿で刻まれている。ご詠歌や寺名が側面に刻まれている。

### ■魚沼歴史・美術館散策

コースの作成者の滝沢魚沼支部事務局長の案内で7人が車3台で巡った。

最初は、宿からすぐの「味噌なめたか」で有名な上杉氏・長尾氏ゆかりの臨濟宗円覚寺派の関興寺を訪れた。残念ながら埼玉県の高校の座禅体験で本堂に入れなかったが、庭を清掃中の檀家の方から寺の説明を十分にいただいた。



今泉記念館 (アートステーション2階)

本堂内部以外の手入れの良い枯山水の庭園(臥龍の庭)・経蔵・総門・三門など境内をゆっくりと見学できた。さらに、檀家の方のアドバイスで地元の人でもめつたに行けない場所で、魚沼平野が一望でき由緒ある南方稻荷神社に立ち寄ることができた。

次は国道17号の道の駅(雪あかり)の奥にあり、気になっていた建物。「棟方志功の世界」が常設展の今泉記念館アトステーションである。約40点の版画(志功は版画)と倭画はすばらしい。今泉コレクションの「南国の摩訶不思議」の奥にあり、気になっていた建物。「棟方志功の世界」が常設展の今泉記念館アトステーションである。約40点の版画(志功は版画)と倭画はすばらしい。今泉コレクションの「南国の摩訶不思議」の奥にあり、気になっていた建物。



雲洞庵

「土踏んだか」の雲洞庵である。魚沼地域の観光への力の入れようなのか雲洞庵も本堂をはじめ宝物殿、周囲の庭園などの整備が進み趣が変わったように思う。

3カ所の見学先の内容が盛り沢山であったためか全員で予定していた池田記念美術館をカットすることを決め、昼食の「魚沼の里」で長森の蕎麦を堪能して、案内の魚沼支部の皆さんに感謝して各自帰途についた。

(新潟支部 石野公久)

# 退職後の1年の小沢の日記

## 時の流れは早い

柏崎支部 外山勝平(09)



長年勤めた柏崎工高で定年退職を迎えられたのは幸いだっ

た。引き続き非常勤講師6時間は担当していた実習を持たせて頂き、その後も継続して今年も9時間を週2日。自分の時間もある程度確保できて丁度よい。また、『旋盤もやらせて頂き、とても感謝している。

部活は趣味が活かした『スキー山岳部』だった。『日本百名山』完登後、二百名山・三百名山を目指したが残り45座。この中には登山道がなく残雪期のみや、行程が長いのに小屋がない山が含まれている。この頃は体力の衰えが顕著なので、とても完登できそうにないが、短いコースならまだ登れる山もありそうだ。

今は山歩きの『城跡めぐり』を楽しんでいる。柏崎・刈羽の城跡の資料を市立図書館から借り、市

内杉平の鳥谷城跡や西山町の高内城跡など、長岡市の栖吉城跡や与板城跡なども良かった。本丸跡からの展望はどこも格別。戦国時代の古に浸れる至福の時だ。

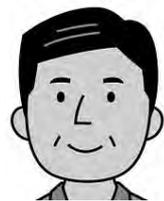
登山を始めた頃、歳を取ったら、大糸線や小海線などのローカル線に乗り、酒を飲みながら、登った山々を眺めたいと考えていた。間もなくその年齢になるがこの楽しみはもう少し後に残しておこう。

もう一つは謡曲(うたい)です。柏崎工高に勤めてから、先輩の先生に誘われ、40年。流儀は宝生流。古典芸能には興味を持っていたが、結婚式の『高砂』位しか知らなかった。あまり真面目に稽古をした訳ではないが、長く続けたので、嘱託の免状を頂いた。今は曲の物語や登場人物等にも興味が湧く。何しろ正座して腹から声を出すので、健康にも良い。新潟市の能楽堂で能や能楽講座があれば、ほぼ観に行く。謡は退職後の趣味に最適である。

これからも、健康に気をつけて人生を楽しみたい。

## 閉校経験

佐渡支部 和田清一(09)



退職したては、嬉しさのあまり地域のテニスクラブに入会した。

月末に試合を控えていたので2試合目で右肘に痛みを感じたがダブルスだったので交代ができなかった。結局3試合中、1勝2敗に終わった。テニス肘で通院する羽目になった。すぐ痛みはとれず直るのに2ヶ月もかかってしまった。痛感したのは、若くないんだから毎日スポーツはできないということ、一度体を酷使したら2日空けること、試合前日は運動をしないこと・・・

非常勤などをして3年目、突然常勤講師を依頼された。3月に入っていたので県も間に合わなかったようだ。子供の送りがあったので快く引き受けた。

4月から5時頃になるとパッチリ目が覚め規則正しい生活?が始まった。常勤は辞令が半年ごと、年休は半年に5日ずつで繰り越しができない。給料は以前よりだいぶ下がってしまった。30万円以上になると年金がカットされてしま

う!

勤務校は1年後閉校予定なので、教科担当は1名ずつしかない。

分掌も1人3役である。何があるうと嫌な顔しないで協力することになっていく。生徒は2クラス70名で最後の学園祭に取り組んでいる。同窓会やPTAも協力し、作品展やステージ発表などを行う。1学年しかいないので1人3役、超多忙である。全員競技は途中で負けた人が審判をするという具合。少人数なので、午前は体育祭、午後は文化祭を実施する。果たして一日身体がもったのでしょうか? 3月の閉校式典では最後の卒業生が涙の校歌斉唱であった。

## 古希を目前に思うこと

柏崎支部 三上祥司(09)



私は戦争を知らない所謂「団塊」世代で、親の世代は戦前戦

中に自己形成した世代だ。例えば父は1920年生まれで青年期を軍隊と戦場で過ごした。だから私たちは、敗戦後の教育と政治経済文化の中心を担ったその世代の影響(長所と短所)を直接うけて育

った。その相反する影響を老いてますます強く自覚させられている。短所の影響をうけて実現されたひとつがアベ政治だ。

ところで振り返ってみれば、私の平凡な日常生活が激変したのは38才のときであった。3才の息子が脳炎を患い知的障がい者となつて以来今日まで、息子を最優先する生活に切り替わつた。そのため付き合ひや義理を欠くこともある。また勤務時間が終わつてサツサと帰宅すると陰口をたたく同僚がいた。それでも何とか退職まで務めることができたのは組合の存在があつて大きかつたのは言うまでもない。

退職にあつて最も願つたのは、息子に充分に相手をしてやれなかつたのでこれからは出来るだけのことをしてやりたい、もうひとつは美術の小品を作り、それに関わる小文を書くというずっと望んできたことをやりたいであつた。

早や10年、2回の短期入院はあつたものの、幸いにもふたつの願ひは実現できている。体がきけば息子の相手を続けたいが、やがてかなわなくなるだろう。それに付けても昨今の「優生思想」を助長するような社会状況(例えばトラ

ンプ大統領の人種差別発言)にあつては後ろ髪を引かれる思いがある。

もう一方は、年に数回のグループ展に拙作を出品し、小文も数本書き上げることができた。まだやりたいことはあるが、こちらの方は遅かれ早かれくる「お迎え」に向かつて、「もつと道楽を続けたら」とごねるわけにもいかないだろうと思つている。

### あつた10年間の

佐渡支部 永田治人(09)



退職したら時間縛られることなく、自分のペースで好きな

ことができるぞと、退職年の4月初、ゆつくりと畑に出たところ、高校の校長さんから電話というではないか。やっぱりというか案の定講師の依頼だつた。予定していた常勤講師が急にキャンセルになり、授業がすぐ迫つていたので何とか頼むということだつた。しかも、自分の専門とは違う科目である。佐渡でこの時期、講師を探すのはかなり大変なので、まあ仕方ないかと引き受けた。翌年や

つと退職かと思つたら、今度は別の高校からまた非常講師の話が来てこれも断れなくて、結局本当の退職は2年後となつた。

どこでも同様だと思うが、退職後、地域の役職がどつと来た。お宮やお寺、農協や集落、市からの依頼された役など一時は7つくらいの役職があつた。これらは毎日仕事があるわけではないが、いろいろと心配りが必要でせわしく感じる。また、退職者の会佐渡支部の事務局長も6年くらいになり、選挙も市民運動もいろいろ関係してそれぞれの活動がずっと続いている。

ところで、いま私は「佐渡扉の会」という同和問題をはじめ様々な差別の問題(人権問題)に取り組む市民団体の会長をさせられているが、佐渡市を動かして佐渡での人権展を毎年開催するなど、今やこの会は佐渡市における人権啓発活動の主力団体となつている。

その中心メンバーは新高教の同推委OBなど現・退の組合員であり、いまさらながら新高教の担つてきた役割の大きさを実感している。というわけで、あれやこれやであつというまに10年が過ぎた。昔、先輩の先生に言われたことがある。

「世の中ケツの軽いヤツがいないとまわらない」頼まれればホイホイと引き受ける私とそのケツの軽いヤツである。少しは世の中に役に立っているのかもしれないが、そろそろ、落ち着いて終活に専念しなければと思う。

### 今の私の楽しみ

佐渡支部 中川二美(09)



今回の原稿依頼を機に、定年退職してからの10年間を振り返

つてみることにしました。今思えば、あつという間の10年間で、まだ小さい孫の面倒を見ながら、夫と共に田畑の仕事を続けてきました。時間的な余裕と夫の性格もあり、わが家の畑は「草一つない」と周りの人たちが褒められるほど手入れのいき届いたものでした。そんな田畑から収穫したお米や野菜を味わつたり、家族や友人におすそ分けしたりすることで多くの喜びも感じることもできました。2年前に夫が亡くなってからは、田んぼは近所の人にお願ひしましたが、畑の方は家族に手伝ってもら

いながら何とか続けています。

また数年前からは、地域の民謡の会に参加し、民謡好きの仲間と週に一度の練習を重ねています。

唄うことの好きな私にとって、大きな声で唄うことのできる民謡は元気の源の一つとなっており、仲間への気持がすっきりとします。

できるだけ多くの祭りや地域行事で民謡を披露することで、地域にも貢献できています。

そして、今の楽しみといえば、気の合った人たちとの旅行や食事会です。気兼ねなくよくしゃべり、おいしいものを食べることが何よりも楽しいです。先日、姪2人と栃木県に旅行をしました。日光東照宮などの観光地を歩きながら、今こうして健康に過ごせていることに感謝しました。また、現職時に仲の良かった教職員との食事会も楽しいです。当時の思い出話や互いの近況を語り合うなど楽しいひとときを過ごしています。

これからも、家族や仲間と囲まれながら、楽しい余生を送れるよう、健康に気をつけながら毎日を送っていききたいと思っています。

### 退職して早10年

上越支部 梨本 渉 (09)



教員生活37年、素晴らしい仲間や良き生徒に恵まれ無事退職できたことを嬉しく思います。退職後は仕事をしないで過ごすこと決め、50歳から個人年金に加入し老後に備えました。これも組合に加入していた為、年金の知識を得たおかげと感謝しています。

現在は、現役時代にお世話になった大好きな「陸上競技」のお手伝いをしています。

また、40歳頃から始めた家庭菜園に本格的に取り組んでいます。昨年、事件が起きました。南瓜・じゃが芋・さつま芋の畝を網で囲み、下部をU字ピンで留めていたにも関わらず、猪に食い荒らされてしまいました。シヨック以外の何物でもありません。そこで、インターネットで「猪の退治法」を検索し、良いものを見つけました。猪の嫌いな匂いのする薬品を袋に入れた商品が売られていたのです。それを購入し設置したところ、被害はなくなりました。もし、猪の被害に困っている方がおられたら、

試してみる価値があると思います。

冬は、スキーです。家内と2人で赤倉スキー場のシーズン券を購入し、年間40回を目標に通っています。自由に気ままに、楽しくてたまりません。

後は、1年間を通して健康保持の為、ジムに通っています。退職と同時に通い始め週2回から3回を目標に頑張っています。

## 日退教集會等から

### エネルギー民主主義の可能性

新潟国際情報大学 佐々木寛

市民運動を展開するにあたり、第一に、ギリシャ時代から20世紀までの運動の主体たる市民の定義を変更しなくてはならない。それまでの定義は、自分たちの豊かな社会を守るためには、暴力の行使も辞さない、また、植民地を持つてもよいとの国家に閉じ込められたという市民の定義の限界であった。他者を犠牲にして、豊かさを享受してもよいとの過去の市民意識は、植民地主義から脱却すること、今後の市民運動（反原発運動）の大前提である。

ところで、最近の学校現場の多忙さと、上からの締め付けは異常です。仲間と協力し組織で物言っているのかどうかどうにもならないのに、組合の組織率が年々低くなっていくのは情けない。

私が教員になりたての頃のように、沢山の先生方が組合員になり、楽しい学校生活が送れるといいですね。

次に東日本大震災を3つの視点でとらえること。第1は天災。第2は東電の問題から分かるように、人災。第3は人類学者の梅原猛が言われた「文明災」という視点。これは、「我々が豊かな近代文明を作ってきたその果て」の災害。原発事故との問題意識である。換言すれば、効率主義、中央集権の考え方を切開くことが、エネルギー問題の解決の初歩になる。歴史的視点に立てば、ヒロシマ・ナガサキへの原爆投下が第一の敗戦ならば、3・11は自分たちが作った原発が原因とする「第二の敗戦」と位置づけるべきである。同時に、誰も責任を取らないという

無責任体制の面では、第一と同じ構造を持っている。さらに無用の長物の観点からは、大戦中の「戦艦大和」の建造と、オイルショック後の「原発重視」は酷似している。沖縄が基地で潤っていないのと同様に新潟も原発で経済的に決して潤っていない。(「崩れた原発・経済神話」新潟日報社) 明治以降首都圏の電源地として、新潟、福島が位置づけられ、リスクは、原発立地地域、果実は首都圏という仕組み。

具体的なきととして、エネルギー民主主義を訴えたい。これは、ドイツの学者が提唱しているもので、「エネルギーの民主化」と「民主主義の深化」が連動するものであるとのこと。すなわち、エネルギーの変更に社会が変化とする。エネルギーは社会の血液。そのエネルギーが変わると国際関係、労働・雇用、教育・文化全てが変わる。この学者の「カーボン・デモクラシー」という本では①19世紀以来の石炭の時代は、炭鉱労働者によって、エネルギーが供給され、その労働者が組合を結成し、強固な民主主義が確立した。②20世紀の石油の時代は、パイプラインで輸送し人手もいらぬグロー

バル化の中で、中東産油国の独裁体制を維持することで、欧米の民主主義の経済的豊かさが同時進行の時代と変化した。③エネルギーが原子力だと、核兵器と原子力は表裏一体の関係。この体制は、秘密主義、権威主義でないと確立できず、非民主的な体制になる。そこで、④エネルギーを再生可能に変えていけば、効率優先の中央集権的社会構造の変更可可能。つまり、中央集権で集めて配分する原子力中心の国家エネルギー政策が瓦解する。つまり、市民自治を基盤とした政策転換となる。

その第一歩として、新潟では、戦争法案強行後に市民連合@新潟を設立。2016年には新潟の知事選で「権力にすり寄る政治ではなく、県民に寄り添う知事を！」をスローガンに、米山知事を当選させ、柏崎再稼働をストップさせた。21世紀は「中央集権・地域分断社会」を「地域分散・自立型ネットワーク型社会」に地産地所社会に。具体的には「おらつてにいがた市民エネルギー協議会」を設立し、RE100の傾向を追い風に再生エネルギー生産を目指している。そして、新潟市、村上市などとパートナーシップ協定を結

び、市が所有している体育館などを借りて、太陽光発電施設を設置し、自治体に供給している。また、運営資金として銀行と無担保、保証人なしで資金提供を受けている。このように、地域一体となつて、エネルギー改革をやっている。

再生可能エネルギーの所は、北海道の大停電、9月の千葉での断水、停電を免れた。日本でも千葉を先頭にソーラーシェアリングが普及しつつある。2反の畑があれば、採算が取れる。蓄電池の格安化の中で、ソーラー発電の一般化も早い。あるいは、ソーラー車利用の発電・蓄電も可能性がある。35℃以上の酷暑が一般化している中で、地球温暖化対策と同時に、ソーラーシステムの構築が急務である。(地公退まとめより)

**東電原発「人災」から八年余・消えない不安の増幅**

1、セシウム137 半減期は30年、今なお福島県の東半分が、3万Bq以上(そのほとんどは6万Bq以上)。労働安全衛生法で示されている福島県東部は現在でも「放射線管理区域」4万Bqと同レベルの被曝水準であると20年以上続く。  
2、放射線量の減衰 2011年

の爆発によって拡散した放射性物質のうち、セシウム134と137が同じ量だったとして、除染などを全く考慮しないで半減期をもとに計算すると、その合計は2019年までにほぼ半減する。

3、甲状腺がん 2016年9月末現在。がんが疑いののあるとされたのは184人。県の検討委員会は「これまでのところ被曝の影響は考えにくい」との立場を変えていない。震災前の100倍以上の数の甲状腺がんの発生は、過度の検査体制にあるという意見があり、専門家の間にも意見は分かれる。検査を自主的判断で行うようにという意見もある、そうなれば、検査を受けない子供の数は間違いなく増える。それこそ風化に繋がる。

4、避難の状況 双葉郡にあつては、今も8割以上の住民が「避難者」である。避難状況は固定化されつつある。このことは、現時点で8割の避難者が今後地元で「帰還」するケースは、これまで以上に少なくなつていくことを予感させる。

5、避難のとらえ方の「差」 福島県災害対策本部が2019年5月10日に出した被害状況速報では、

避難先で家を建てた世帯や個人は「避難者」として数えられていない。避難先で家を建てた「避難者」がどういう気持ちで、新しい近所付き合いをし、または、新しいこうとしているか、そうした、生活の生々しさがイメージできないことへの憤りを改めて感じた。

**6、帰還の状況** どの市町村も、少しづつではあるがインフラ整備が着実に進んでいる。しかし帰還している世帯の人数は少ない。帰還している住民の多くは単身または夫婦のみである。子供の姿は見えてこない。(木村)

### 全国高齢者集会アピール

『安倍政権は森友・加計学園での疑惑にまだに何ら説明責任を果たしていません。国会運営は「文書改ざん・隠蔽・虚偽答弁・強行採決」に終始しています。対ロシアでも進展はなく、対韓国においては戦後最悪の関係に陥っています。』

7月に行われた参議院選挙では、自民党は単独では過半数割れ、自公連立でも改憲発議可能な国会議員3分の2を割りました。国民は改憲発議には「ノー」の審判を下しました。それにも拘らず安倍首

相は改憲にさらなる意欲を見せています。安倍政権とそれを支える人たちがめざすものは戦前回帰です。国民の民意は安倍政権がめざす改憲に反対です。政権の横断が次々とあらわになっていきます。ゆるみ・政権への「忖度」の横行が次々とあらわになっていきます。政権の暴走を止めなくてはなりません。

一向に生活が楽になった実感がない中、労働者・子育て世代の若者・子どもの貧困・高齢者、弱者へ向かって社会の歪みが表面化しています。沖縄では再三にわたる民意が無視されて、政府の都合で辺野古新基地建設が進められています。福島では帰還したくてもできない事情を抱える家族への支援うちきり、子どもの甲状腺がんの疑いによる健康不安等、さまざまに困難が住民に押し付けられています。私たちは、そこに暮らす人々の思いや生活者としての願いに寄り添う政治の姿勢を望みます。私たちは平和を求め、核のない世界をめざして「核兵器廃絶に向けた1000万署名」を連合と共にとりくみ、成功させます。

政府は社会保障の医療・介護・年金問題等、誰もが高齢になれば抱える諸問題を、高負担・低サ-

ビス・自己責任論で個人に解決を迫り、政治の責任を回避しようとしています。

高齢者は社会の現役としてこれからの積極的に行動し、社会に向かつて発信を続けます。

そのために全国各地で仲間を増やし、一層のとりくみ強化・発展をめざします。』(石野)

### 学校の働き方改革

今年1月25日、中教審が「学校の働き方改革」に関して答申した。長時間労働の要因として、給特法に定める「超勤4項目」以外の業務である自主的・自発的業務が肥大化していること、自主的・自発的業務のほとんどが校務分掌等を踏まえ教員が業務として行なっているものであることが共有された。しかし、日教組が求めてきた「給特法」の廃止・抜本的な見直しについては中長期的な課題として残された。文科省は自主的・自発的勤務時間も勤務時間に包含する「在校等時間」という概念の下、時間外勤務の上限目安を示す上限ガイドラインを策定し、長時間労働の是正を都道府県に求めた。

また、答申は、公務員は除外されている1年単位の変形労働時間

制の検討を文科省に求めた。夏休み等の長期休業中にも研修や部活動指導、課外学習や進路指導などの業務が教員に課されており、学校には大前提の閑散期はない。第200回臨時国会において、給特法についての議論が予定されている。一つは、「上限ガイドライン」を指針として給特法に位置付け、一定の法的拘束力を持たせるという案、もう一つは、1年単位の変形労働時間制の教員への導入だ。想定される法案は、休日の設定を前提としたまとめ取りのための1年単位の変形労働時間制と見られている。つまり、長期休業中等に休日確保した上で、課業日の勤務時間を延長するということだ。休日の増加につながるのであれば一定の効果は期待できる。

日教組は、「学校の働き方改革・長時間労働是正」のためには、①文科省・教育委員会等による大胆な業務削減、②必要な人員の確保のための定数改善、③給特法の廃止・抜本的な見直し、の3つの柱のベストミックスを方針として求めているが、こうした日教組方針に沿った方策が講じられているとは言い難い。(梶原貴 日教組書記次長の話から)

分校・定時制時代(リレートーク/4)

「栃尾高校上塩谷分校の思い出」

中原雅司(00) 佐渡支部

1969年4月栃尾高校上塩谷分校(昼間定時制)に社会科教員として赴任した。

赴任当時の栃尾は繊維工場の全盛期であり、定時制中心校は立派な独立校舎で、西谷・上塩谷の2分校を有していたが、西谷分校の廃止が決定していた。上塩谷分校も生徒数が各学年10名くらいで厳しくなっていたが、山井分校主任が地元の名士で大きな山林地主の努力により通学生は高卒をめざす事が出来たと思う。70〜90名の生徒数であった。

校舎は地元中学校に近く、県道より少し登った広い台地であり、栃尾よりのバスや栃鉄で長岡より通う教員もいた。月曜より週4日6時間の授業で、授業の日は6時間を教科書を変えながらの日もあり、商業を含め社会科以外の授業で、先輩教員の手助けも受けながら慣れるまではなかなか大変



草に覆われた当時の校舎



若き日の筆者

大学に通う者、女子の2名は東京の就職先で大卒の方と結婚し、銀座のギャラリーでの作品展等立派にやっている。バドミントンが強く3日の休みに中学の体育館で練習をしたが、1日練習するのは初めてとかで喜ばれた時は意外であった。生徒会機関誌「黒土」



であった。自分が選んだ道であり、働きながら通学する生徒にも少しづつ対応する内に教員としてやってゆく道を確認できたのが分校勤務と思っている。生徒に負けないで、3日の休みを活用して商業の免許・社会の一級免等は分校時代の取得であった。県の行政職であったが単純な思いで、何よりも好きな軟式庭球が当分できる位な気持ちでいたので、分校にテニスコートがあり、主任がテニスのエースで2人で打ち合った事も教育職を

全う出来た所以かも知れない。就任初年度は3年生の担任で10名に満たない学年であり、スクールバスを出して90名を越す昭和30年代〜43年頃の雰囲気は校舎設備のみの感じであったが地域の期待生徒の活動はすばらしかった。文化祭の展示では、商実クラブとして、地域の耐久消費財の普及について、11地区を調査し、5年前の調査との比較を出している。カー・テレビの普及期であった。文芸部の意識調査の項目には、眠くなる時間・嫌いな科目・最近読んだ本・定時制に家の人はどう思っているか等の調査結果が示され、学費や人手が足りない家庭の通学理由も示されている。私の学年は卒業6名であったが、自衛隊で夜間

の発行は私の学年で最後になる。卒業生を送ると分校の廃止で、4年目には在校生を含めて全員栃尾の中心校に移転して残りの教員3名で上塩谷分校閉校記念誌の作成であった。上塩谷小学体育館で盛大に閉校式を行って分校25年の歴史に幕を閉じた。

また、中心校は生徒数が多く、闇の1学級増があり、助っ人で夜間2時間通しの90分授業も行ったが今では考えられないと思う。1日働いた学生52名を相手に工夫をこらしたのも栃尾の思い出である。「日本列島改造論」を議論し、上塩での縄文土器捜し、「半蔵金集落」の調査、授業に生徒の案内で茸探しに出て道に迷い半日がかりで学校に帰った事、校舎での宿直、田植・稲刈りの休み等約半世紀前の思い出である。

なお、私は中国天津よりの敗戦帰国組、農業を継ぐ長男で高校は農業科、弟には希望の獣医進学を進めた。ただ、高校で個性的な多くの先生に会って驚き、弟の合格後、勉強の必要を思った。県の行政職員・教員採用共に1回で合格できた。高度成長期の平和社会で、雑学による運の良い生活を歩んだと思う。

# 電力会社を変えてみた

内山正知 (10) 新津支部

## 東日本大震災と東電事故

東日本大震災により東京電力福島原発が崩壊し、甚大な放射能汚染を引き起こした。これを目の当たりにしたとき、多くの人が全原発の即時停止・廃棄、自然エネルギーへ転換が必至と思ったに違いない。

私自身も何かしなければいけないと思った。しかし、無知による億劫さと不安、自然エネルギー推進の動きが見えないこともあってこれまで何もしてこなかった。

## 電気の小売自由化の歴史

電気の小売自由化は、2000年3月に特別高圧区分が自由化され、2004年から2005年にかけてさらに拡大し、2016年4月1日からは、低圧区分の個人でも電力会社を選べるようになった。

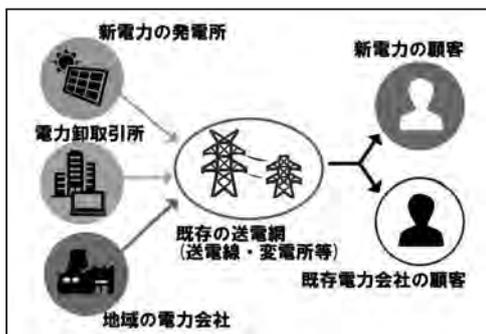
つまり、それまで個人の電気は、各地域の電力会社だけが販売して、電力会社選択の余地はなかったが、電気小売業への参入が全面自由化されたため、個人が電力会社

社や料金メニューを自由に選択できるようになったというわけだ。

## 電力供給の仕組み

電力小売全面自由化後も、物理的な電力供給の仕組みには原則変更はない。電力は、**発電所→送電線→変電所→配電線**の経路をたどり各家庭まで供給される。つまり、どの小売事業者から電気を買っても、これまでと同じ送配電ネットワークを使って電気は届けられるので、電気の品質や信頼性・リスク(停電など)は変わらない。

電力の供給システムは発電部門、送配電部門、小売部門の3つの部門に分類されていて、小売部門は消費者が必要とするだけの電力を発電部門(自前の発電所や電力卸取引所など)から調達し、料金メニューを設定し、消費者と直接契約をするなどのサービスを行う



部門である。

## 電気会社を変更するに当たって

経済産業省の発表によると、2016年4月電力小売完全自由化後、2018年12月までに電力の購入先を新電力へ変更した契約件数は622万件となり、全世帯数5040万の12%を超えた。

電力会社を切り替えても、これまで述べてきたように発電・送電・配電などのインフラが変わらないので使用環境は今までと同じ。変わるのは、電気料金が安くなること、電気料金の支払い先が変わることくらい。電気会社変更のハードルは驚くほど低い。

## 電力会社切替えまでの流れ

一般家庭向けに電気を供給している登録小売電気事業者(電力会社)は9月9日現在、全国で611社ある。電力会社の切替えは、各社のサービス窓口、電話、ホームページ等からできるが、「エネチェンジ」などの電気見直しサイトを利用すると簡単に行える上に優遇措置がある場合もある。電力会社の切替え時、現在契約の電力会社への解約手続きは、切り替え

先の電力会社がしてくれる。切り替え時にはスマートメーターが必要だが、まだ未設置であっても現在契約している電力会社が交換作業を行う。(交換費用は不要)

その後、新電力会社が供給開始日を連絡してきて、何事もなかったように今まで通り電気は供給され続ける。契約期間の縛りもないし、解約の際の解約金なども不要だ。

## どの電力会社に変えたのか

過去3年間の自宅の電力使用量(年間約6kWh)のデータを使い、電気料金のシミュレーションを行った。(次ページ参照) 実施した電力会社は7社。原発を運転していない会社の中から、①電源比率でFITが高い会社、②電源比率が中程度の会社、③火力中心の会社を選んで検討した。東北電力と比べて、①の会社で年間7千円、②のFIT25%の会社で16,000円、③の会社では16,000円と全ての会社で電気料金が安くなる計算だ。この中から②の会社を選んだ。

我が家は10月25日から新電力の供給が開始した。もちろん、何も変わらない。料金は間違いなく安くなるはずだ。

## 電気料金シミュレーション

2018年分実績値			請求金額(円)ただし、現在の料金でのシミュレーション								
年月	使用日数	使用量(kWh)	東北電力	自然電力SE100	みんな電力	バルシステムでんき	自然電力SE30	Loopでんき	グリーンでんき	エルピオでんき	シン・エナジー株式会社 未公開
			FIT電気9% 火力76%	FIT電気100% その他22.11%	FIT電気77.1% その他22.9%	FIT電気71% その他FIT14%	FIT電気30% その他70%	FIT電気25.3% 水力1% その他73.7%	FIT電気17.4% 火力40% その他60%		
01月	34	665	¥20,965	¥19,924	¥20,153	¥20,965	¥19,259	¥19,152	¥19,835	¥18,627	¥19,861
02月	28	630	¥19,861	¥18,914	¥19,126	¥19,861	¥18,284	¥18,144	¥18,811	¥17,724	¥18,842
03月	29	495	¥15,602	¥15,021	¥15,165	¥15,602	¥14,526	¥14,256	¥14,863	¥14,241	¥14,914
04月	31	513	¥16,170	¥15,540	¥15,693	¥16,170	¥15,027	¥14,774	¥15,389	¥14,705	¥15,437
05月	31	412	¥12,983	¥12,627	¥12,730	¥12,983	¥12,215	¥11,866	¥12,435	¥12,100	¥12,498
06月	29	351	¥11,058	¥10,868	¥10,940	¥11,058	¥10,517	¥10,109	¥10,651	¥10,526	¥10,723
07月	33	567	¥17,873	¥17,097	¥17,277	¥17,873	¥16,530	¥16,330	¥16,969	¥16,099	¥17,009
08月	29	599	¥18,883	¥18,020	¥18,216	¥18,883	¥17,421	¥17,251	¥17,905	¥16,924	¥17,940
09月	29	402	¥12,668	¥12,339	¥12,436	¥12,668	¥11,937	¥11,578	¥12,142	¥11,842	¥12,207
10月	33	391	¥12,320	¥12,021	¥12,114	¥12,320	¥11,630	¥11,261	¥11,821	¥11,558	¥11,887
11月	29	424	¥13,362	¥12,973	¥13,082	¥13,362	¥12,549	¥12,211	¥12,786	¥12,409	¥12,847
12月	29	504	¥15,886	¥15,280	¥15,429	¥15,886	¥14,776	¥14,515	¥15,126	¥14,473	¥15,175
合計	5953		¥187,630	¥180,625	¥182,360	¥187,630	¥174,672	¥171,446	¥178,732	¥171,227	¥179,340
平均			¥15,636	¥15,052	¥15,197	¥15,636	¥14,556	¥14,287	¥14,894	¥14,269	¥14,945
12ヶ月分差額				¥7,005	¥5,270	¥0	¥12,958	¥16,184	¥8,898	¥16,403	¥8,290
基本料金			¥1,944	¥745	¥1,062	¥1,944	¥745	¥0	¥1,788	¥1,470	¥1,925
1~120kWh			¥18.24	¥26.04	¥24.54	¥18.24	¥25.04	¥26.00	¥18.24	¥23.00	¥17.98
121~300kWh			¥24.87	¥26.04	¥25.54	¥24.87	¥25.04	¥26.00	¥24.12	¥23.00	¥23.98
300kWh超過分			¥28.75	¥26.04	¥26.54	¥28.75	¥25.04	¥26.00	¥26.45	¥23.00	¥26.30
燃料費調整額			¥-0.15	¥-0.15	¥-0.15	¥-0.15	¥-0.15	¥-0.15	¥-0.15	¥-0.15	¥-0.15
再エネ発電促進賦課金			¥2.95	¥2.95	¥2.95	¥2.95	¥2.95	¥2.95	¥2.95	¥2.95	¥2.95

電気料金のシミュレーションは、東北電力も含めて今年9月の料金で行った。上記は2018年のケース。  
FIT電気：固定価格買取制度によって一定の価格で取引される電気のこと、太陽光・風力などの再生可能エネルギーがFIT電気として取引される。

### ※告知等

通信134配付時に、支部宛に署名とカンパ2件に関わる連絡を行いました。カンパは日退教

2019年闘争カンパと「高校生平和大使」活動支援カンパです。今回は会員個人にカンパをお願いせず、「新高退会計から合計7万円(会員一人1000円程度)を支出して、2つのカンパに充てる」という方法を取りました。

会費と同時に個人に振替用紙でお願いする場合はともかく、それ以外の時期に支部集約にすると、支部役員への負担が大きいため、苦勞の割に集約が難しいため、今回はこのような方法を取りました。しかしこれは、緊急避難的な措置で、新高教から多額の支援を受けている状況で、カンパ目的の会計支出を行うことは適当ではありません。

日退教闘争カンパは毎年要



請されたいですし、他にもたびたびの要請があ

## 今後カンパ要請にどう対応するか!

ります。しかし要請時期(集約期限)や要請額によっては、要請にかかる費用から個人対応も支部集約もほとんど不可能となります。

そこで、会費納入時に以下のように対応することで、カンパに対応できるか試行してみます。

毎年納入してもらっている会費を郵便局の窓口で納入する場合には、現在払込み料金が200円、ATM払いでも150円かかり、これは本部負担となっています。一方、現金納入の場合には、当然ですが手数料は不要です。

そこで、郵便局の窓口あるいはATMで会費納入をする会員からは、会費納入時に、当面任意で、この手数料相当分の200円以上をカンパ充当金として負担してもらうこととします。

400人の会員から200円ずつ納入してもらえば、カンパ充当金は8万円となります。当面任意ですがご理解をいただき、是非ご協力をお願いします。

# 囲碁大会報告

生きがい支援協会の補助終了により、北プロ大会、全国大会の開催が最後となる今年度の囲碁大会が9月5日、高校会館3Fで開催された。

## 2019新高退囲碁大会

北プロ大会への出場権は佐野、佐藤、有坂の3名の手に！

今年度大会は参加者を集めることに苦労し、Aクラス(上級者)6人、Bクラス(中級者)7人しか選手が集まらず、選抜方法は変則的となった。参加者は以下の通り(丸数字は順位)

【Aクラス】②市川洋(新潟) ○齋藤淳一(新潟) ○笠原均(新潟)

津) ○堀行(魚沼) ○出口光男(魚沼) ①佐野達哉(上越)

【Bクラス】①佐藤暢夫(新潟) ○本間眞澈(新発田村上) ○渡部良一(新発田村上) ○鈴木信義(新津)

②有坂 勝(三条)



最後でこの運営も大会(左から石野、佐野、木村)

加茂) ○荒井一郎(上越) ○市橋昇(佐渡)

大会の結果、Aクラスは佐野さん、Bクラスは佐藤さんが優勝した。北陸ブロック大会へは、この2名とCクラスに有坂さんが出場することとなった。

## 大会後の懇親会で

今回で一応区切りがつくのとこのとで、参加者有志は五泉市咲花温泉「ホテル丸松」で懇親会を行った。参加者が話し合った結果、囲碁愛好者のつながりを維持するため、今後は全県的な「囲碁同好会」のような形を模索していくこととなった。

## 北陸ブロック囲碁大会

10月4日、「生きがい支援協会」主催の北陸ブロック囲碁大会(福井、富山、石川、新潟)

が富山市の「パレプラン高志会館」で開催された。新高退参加者の中では、Aクラスの佐野達哉さんが優勝し、全国大会に出場した。(成績5位) (内山)

# 『活動日誌』・点描

■事務局会議(8月7日) 『通信No.134』校正 ■事務局会議(8月21日) 『通信No.134』校正

2019年度版会員名簿印刷 ■事務局会議(8月28日) 2019年度版会員名簿製本。『通信No.134』発送準備 ■教育を良くする新潟県民会議幹事会・総会・学習会(8月28日) 「学校における児童虐待対応」講師・伊藤信行さん(新発田児童相談所長)

■事務局会議(9月4日) 『通信No.134』発送、次号の発送数700を切るか。2019年度版会員名簿発送(購入希望の会員のみに)。囲碁大会の準備 ■新高退囲碁大会(9月5日) 生きがい支援協会からの補助金廃止もあり、本大会をもって数々の名勝負を生んだ27年の歴史に幕。終了後、咲花温泉で惜別の懇親会開催 ■護

憲フォーラム・県平和運動センター憲法学習会(9月4日) 講演「改憲を巡る参院選後の国会情勢」講師・横田昌三(社会民主党全国連合総務企画局長) ■新高教70周年記念事業実行委員会(9月7日) 役員選出、任務分担決定。

事業は記念誌発行等を確認 ■サポート会議(9月11日) 版画教室「湯沢de懇親会」について協議

■戦争法廃止・9条改憲No!新潟大集会(9月19日) 集会後に駅周辺をデモ。新潟、新発田・村上、三条支部から会員18人が参加。うち女性会員8人 ■地公退・地公3単産高齢者集会(9月16日) 17日) 講演「エネルギー民主主義の可能性」講師・佐々木寛さん(新潟国際情報大学教授)、学習会「働き方改革と定年制」講師・梶原貴さん(日教組書記次長) ■新潟

県退職者連合第1回幹事会(9月30日) 未定だった女性枠の幹事に小谷野いく(NTT)、猪俣美栄子(自治労)を選出。規約改正案(業務一般をも監査するとの理由で「会計監査」を「監事」に変更)を承認(正式決定は大会で)。

報告事項・十日町地域退職者連合の代表に出口光男さん、上越地域退職者連合の代表に小山正明さん ■教育を良くする県民会議第2回幹事会(10月2日) ■事務局会議(10月2日) ■安倍9条改憲No!全国市民アクション@新潟憲法学習会(10月2日) 講演「日本国憲法の持つ『平和力』〜誰一人取り残さない政治のために〜」講

議(10月2日) ■事務局会議(10月2日) ■安倍9条改憲No!全国市民アクション@新潟憲法学習会(10月2日) 講演「日本国憲法の持つ『平和力』〜誰一人取り残さない政治のために〜」講

師・うち越さくらさん(弁護士・参議院議員) ■版画教室(10月7日) ■事務局会議(10月9日)

「湯沢de懇親会」参加者の確認、参加者宛に案内発送 ■嫌韓を煽るな!日韓市民の連帯でこの作られた日韓関係悪化を止めよう!新潟集会(10月10日) 報告・李大洙さん(牧師・アジア平和市民ネット代表)、吉澤文寿さん(新潟国際情報大学教授) ■日退教5者合同学習会、組織活動交流集会(10月10日~11日) 台風来襲の影響を考慮し、組織活動交流集会の日程を一部変更 ■版画教室(10月15日) ■事務局会議(10月16日) 日退教からの台風19号の被害調査について協議 ■日韓連帯集会(10月16日) 講演「韓国元徴用工問題解決には何が必要か」講師・内田雅敏さん(弁護士)

■版画教室(10月21日) ■事務局会議(10月21日)「湯沢de懇親会」の最終打合わせ ■「湯沢de懇親会」(10月23日~24日) 参加者18名。魚沼支部役員の協力に多謝。台風19号による会員の建物被害「なし」の報に安堵 ■版画教室(10月29日)

(木村)

# 編集☆集☆後☆記

## 湯沢de懇親会

ほぼ昨年と同じ内容で実施した。昨年より2週間ほど早めたのは紅葉真っ只中を狙ったこと。しかし、自然には勝てず、裏をかかれて曇天の上、紅葉もまだ半ば。

ドラゴンドラは、直前に紅葉を確認した上で平日に訪れるのがベストと知る。来年の宿泊懇親会開催地は長岡周辺か。

## 退職後10年の小さな自分史

今回の該当者は19名。そのうち今回寄稿してくれたのは6名だ。近年、寄稿要請にに応じてくれない人が増えている。退職者の会を存続していこうと確認したのだから、そして通信発行は全ての会員が会の存在を認識するための重要な取り組みだから、会費の納入も重要だが、本部からの寄稿要請には積極的に応えてもらいたい。

## 日退教報告

見やすさを担保するために心がけてきた表も写真も入れられず、盛りだくさんになってしまった。高齢者集会では、野党共闘の新潟方式産みの親とも言える佐々木寛さんの話、学習会では、教職員

の勤務を根本的に解決しない「働き方改革・変形労働時間制」についての話、5者合同学習会・組織活動交流会での福島県からの報告は、福島原発事故から8年で状況は変わらないのに「過去のことにした」政府の施策など、いずれも報告すべしと、短く編集して掲載した。

## リレートーク

J A羽茂の組合長として「おけさ柿」のブランド化と普及にも取り組んできた中原さんからの寄稿。分校勤務の話にも中原さんの前向きな姿勢と旺盛なチャレンジ精神がにじみ出ている。

## 電力会社を変えてみた

この期に及んで、資本上は国有会社の東京電力が、事実上税金で不愉快極まりない再稼働CMを垂れ流す。原発ムラ・東電への怒りは大きく、さらに少しでも出費を減らせたらと思いい、同様に原発を所有する東北電力から電力会社を変更した。

予想外に不安もなく簡単に変更できたので紹介したが、他の人に勧めるだけの知識も自信もないので、やってみようと思う方はご自身で調べて納得した上でお願いしたい。

## 囲碁大会

愛好者の数から言うと、今では必ずしも一般的な娯楽とは言えないが、本部企画として長い間継続してきた。その囲碁大会も「金の切れ目が縁の切れ目」ではないが生きがい支援協会の事業中止に伴い、本部活動としては今年度で終了する。

来年度からは、全県を対象とした囲碁同好会の形で再出発すること。同好会については特に規定がないので、年度末に配分している「活動状況に応じた補助金」の同好会構成要件を追加する予定。(内山)

ご冥福を  
お祈りします

(括弧内は「現職退職年」)

2018年

高橋 ツタ さん (84)

(長岡支部) 12・15

2019年

河治 久夫 さん (01)

(三条・加茂支部) 6・24

青木 保 さん (90)

(佐渡支部) 8・24